

中部運輸局観光部

平成27年11月4日発表



連絡先：中部運輸局観光部国際観光課
村上、今村
TEL 052-952-8005

東アジア地区最大の旅行博で「昇龍道」をPR！

～第23回 台北国際旅行博（ITF2015）でプロモーション～

昇龍道プロジェクトでは、台湾からの誘客を促進するため、観光物産博・旅行博への出展や、旅行会社・メディア招請等により旅行商品の造成支援、観光資源の魅力について情報発信を行ってきました。また、台湾から中部国際空港への就航便が増える予定もあり、訪日客の一層の増加が期待されるところです。

このような状況の中、11月6日（金）～11月9日（月）台北市において開催される「台北国際旅行博（ITF2015）」で、近畿東中央部FIT促進事業実行委員会（三重県等）と連携して出展します。出展概要は別紙1のとおりです。

東アジア地区最大の旅行博覧会であるITF2015で、中部北陸地域の9県3市との協議の上、作成した「昇龍道」の6つの重点ルート※ 別紙2を示しつつ、現地旅行会社等に対し、旅行商品の造成等を促します。

※重点ルートについては、台湾市場からの反応等も踏まえ、さらなるブラッシュアップを図っていくこととしております。

【ITF2015 概要】

1. 日 時 平成27年11月6日（金）～11月9日（月）
2. 場 所 台湾台北市 台北世界貿易センター
3. 主 催 財団法人台湾観光協会
4. 後 援 台湾交通部観光局
5. 規 模 参加国・地域数 : 60ヶ国・地域 (ITF2014 実績)
出展者数 : 950団体、1,450ブース (ITF2014 実績)
来場者数 : 337,319人 (ITF2014 実績)
6. 出展ブース (連携者)
 - ① 「昇龍道」ブース
(中部広域観光推進協議会、(公社)日本観光振興協会中部支部)
 - ② 「三重県(近鉄レールパス)」ブース
(近畿東中央部FIT促進事業実行委員会※)

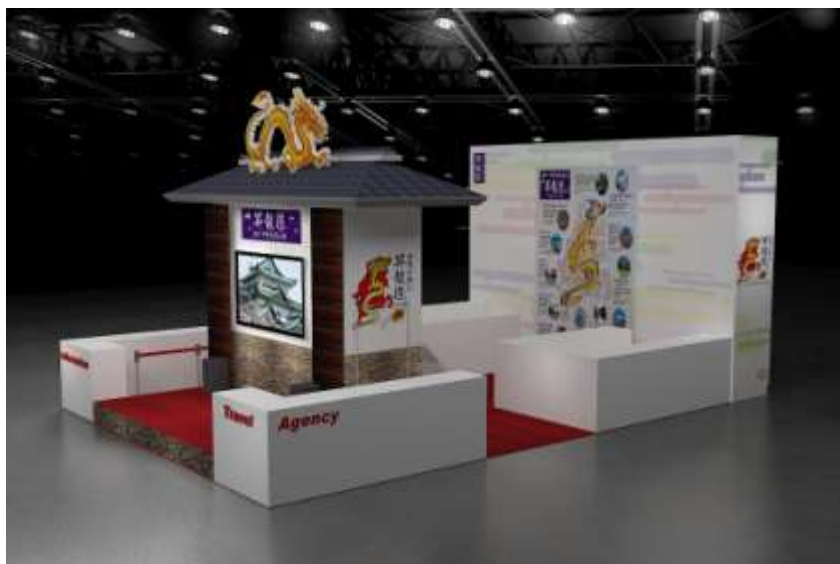
※構成：三重県、近畿日本鉄道(株)、中部国際空港(株)、新関西国際空港(株)、三井不動産(株)

※ 連携者において、昇龍道のぼりを配置するなど、一体感をもって昇龍道をアピールします。

【昨年度 (ITF2014) 昇龍道ブースの様子】



【ITF2015・昇龍道ブースイメージ】 歴史をテーマとしたブース





Jurassic Route

昇龍道の観光資源は、実に多様で豊かです。
 ジュラシック・ルートには、恐竜の化石が多数出土する地区に世界三大恐竜博物館の一つがあります。
 1000万年以上も日本海の荒波に侵食されてできた奇岩が連なる東尋坊、日本最大の湖でもある古代湖の琵琶湖などを巡って、「古代のロマン」を感じとりましょう。
 秋には、永平寺や湖東三山などの紅葉も楽しみましょう。

Dragon Route

昇龍道の観光資源は、実に多様で豊かです。ドラゴン・ルートは、能登半島を頭とする龍がこのエリア最大の都市の名古屋から天に昇っていく様子に見立てた「昇龍道の象徴的なルート」と言える日本列島のまんなかを南北に横断するルートです。
 名泉の誉れ高い下呂温泉や和倉温泉を楽しみつつ、太平洋側から山岳地帯を経て日本海側へ抜け、変化に富んだ自然、まち、食、文化を体験しましょう。

Platinum Alpine Route

昇龍道の観光資源は、実に多様で豊かです。プラチナ・アルペンルートでは、「3000メートル級の山々」が連なる中をケーブルカー、ロープウェイ、バス、トロリーバスなどを乗り継いで、90キロメートルを横断しましょう。4月中旬から11月末まで通行可能ですので、春は「雪の壁」を、夏は涼しさを、秋は紅葉を楽しみましょう。富山や長野のまちから眺める山々も美しいです。



Ise Pilgrimage Route

昇龍道の観光資源は、実に多様で豊かです。近世に人々が一生に一度は参拝したいと願った、神道のふるさと「伊勢神宮」。1700年頃には日本中から500万人もの人々が歩いて伊勢へと旅をしました。
 イセ・ピルグリミッジ・ルートは伊勢湾を船で渡る現代のルートです。
 このルート周辺の地で、人々は海女文化を育み、真珠を養殖し、魚や貝をとり、温暖な気候の下で、お茶や様々な花や果物を栽培しています。
 豊かな海と温暖な気候がもたらす食や文化を体験しましょう。
 2016年の伊勢志摩サミットは、こうした豊かな海に浮かぶ島で行われます。
 また、忍者、ちびまる子ちゃんの起源も楽しみましょう。

Nostalgic Route

昇龍道の観光資源は、実に多様で豊かです。
 ノスタルジック・ルートには、様々な「古きよき日本」が残っています。
 サムライ文化の象徴である数々のお城やその城下町、今も人が生活する古民家集落や宿場町、そして、上高地に代表される美しい山、川、森。それらは、訪れる人に「なつかしい」という気持ち呼び起こします。
 日本の心のふるさとを体験しましょう。

Hiroshige's Route

昇龍道の観光資源は、実に多様で豊かです。
 近世に、江戸と京都を結ぶ東海道の53の宿場町の様子を浮世絵に描き、西洋の印象派の画家たちに影響を与えた「歌川広重」。
 ヒロシゲ・ルートでは、戦乱の世に生き抜き、広重が生きた近世の日本に泰平をもたらした徳川家康を含む3人の偉大なサムライゆかりの城や古戦場を訪れ、近世の東海道を沿って走る新幹線や、ものづくり産業を体験しましょう。
 また、世界遺産の富士山や比叡山延暦寺も楽しみましょう。